

橿原市

医大周辺地区まちづくり



1 雇用の場の確保に関する課題及び基本的な考え方

- ① 事業所数は県内2番目の4,477事業所。約10年前から微減。
- ② 約10年前と比べ「一人あたり市民総所得」は3.8万円増加。「市民総生産」(GDP)は84億円減少。
- ③ 女性の労働力、就業率は県内12市で2番目。全国平均に及ばず。
- ④ 京奈和自動車道沿道エリアでの工業誘致を検討。
- ⑤ 医大周辺地区まちづくりでの特色ある新たな雇用を促進。

2 取組の概要

【橿原キャンパスタウン】

- 人々の暮らし方や都市としての活動に知的刺激を提供し、オリジナルな価値を創出することで、まちのブランド力を高める。
- 地区全体に多様な人々が集いキャンパスのように活気あふれるまちづくりを目指す。

医大周辺まちづくりを活かした雇用の創出

- ① 新キャンパス西エリア (約10ha)
 - 「医学と連携した産業の拠点」
 - ・ 学校／研究所／漢方／研修施設／工場など
- ② 附属病院南エリア (約9ha)
 - 「附属病院と連携した健康産業の拠点」
 - ・ 宿泊施設 (家族見守り)／健康食レストラン／健康ステーション／文化会館／博物館など

3 取組の効果 または 苦労した点や今後の課題

- 地域のまちづくりに対する機運の醸成
「まちづくり勉強会6回」「意見交換会4回」「役員会8回」(9割以上の方が賛成で、積極的に取り組んでいただいている)
- 企業誘致が課題
 - ・ 企業誘致の時期
現在の「まちづくり協議会」組織を2023年までに「土地地区画整理組合」とすることが目標
 - ・ 市街化調整区域であり「地区計画」を定める必要がある

詳しくは、橿原市ホームページ <http://www.city.kashihara.nara.jp/>